



日本聖書神学校 学 報

Japan Biblical Theological Seminary

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16 • ☎03-3951-1101 ~ 2 • Email: jbts@jbts.ac.jp

2020年4月1日

第163号

発行人 神保 望
印刷所 山猫印刷所



【イースター随想】

神の愛と人の罪

ルカによる福音書 23章 39 ~ 43節

教授 稲垣千世

今号の内容

イースター随想	1
第72回卒業生	2
2020年度新入生	2
教職員の異動	2
リユニオンを終えて	3
春期伝道実習報告	3
学事報告・個人消息	4
図書館だより	4

主イエスが十字架刑に処せられて息を引き取られていく場面は四つの福音書すべてに描写されています。この場面は神の前に生きる私たち人間の歩みはどのようなもなく罪深く絶望に向かっていくという人間の混沌とした現実を、聖書と向き合う者一人ひとりに突き付けてきます。この闇の中に輝く光があります。人が主を死刑にしていくというこの世の闇が深まっていく場面の中からまさに輝き出ようとしている一縷の希望の光を切なる祈りをもって見出していく信仰を与えられたいと願います。

罪なき神の独り子イエス・キリストが人の罪を背負って罪の結果の死の時に向かって進んで行きます。イエスに自らの罪を背負わせた罪人たちは罪の結果の死の時に向かって先立って進んで行かれるイエスの後について行きます。イエスと罪人たちが一つとなってこの地上を罪の結果であるイエスの十字架の死の時に向かって進んで行きます。人の罪が極まっています。いよいよこの地上にイエス・キリストの十字架が立つ時が始まりました。人がイエスを十字架に上げていきます。人の罪が深ければ深いほど、立ち上がっていくイエス・キリストの十字架はいよいよ堅固なものとなっていきます。

人の罪がメシアを十字架の死へと上げていきます。メシアは人の罪を贖い取って十字架の死へと上がっていきます。このためにこそイエスはこの地上にやってきました。ルカによる福音書には十字架の上で罪の結果の死を罪人と共に死んで行かれるイエスと罪人との関係が、イエスと罪人との対話を通して描き出されています。今まさに死んで行く自分自身の運命の中であがき苦しみながら、しかし、どうすることもできない自分の絶望の叫びを、この運命を共にして下さっているメシアに向かって吐き出している一人の罪人がここにいます。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」メシアを罵ることによって自分の絶望をメシアに訴えることしかできない救いよのな

さ、罪人の哀れが見えてきます。それと同時に、まさに今、この瞬間、その罪人を黙って受け止めその運命を共にしているイエスの存在が光を放ち、わたしはあなたのメシアである、という驚くべき神の現実が現れます。この瞬間、十字架の上で死んで行く罪人は見捨てられていません。罪の結果の死の時にいてさえ、罪人にはメシアが共にいます。主が共にいる、というこの驚くべき神の現実、死によって限界づけられている罪人の命が限りない神の永遠の命の中にある、という救いそれ自体である神の世界を開示します。神の救いの中で死んで行く罪人は自分自身を知り、そして、自分と共に死んで下さるメシアを知ります。この知識は自分の罪の告白と罪なきイエスの告白の言葉となって実を結びます。「お前は神をも恐れぬのか、同じ刑罰を受けているのに。我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」そして、最後の一縷の望みをメシアに託し、息を引き取っていきます。「イエスよ、あなたの御国においてになるときは、わたしを思い出してください。」

十字架の上で、神の愛の力は人の罪の力と究極の出会いを果たし、一つとなります。神の愛の中で、人の罪の結果の死の時に訪れます。まさにその瞬間、神の愛の力が人の罪の力に勝利する瞬間が訪れます。神の愛が人の罪を贖い取っていく瞬間が訪れます。神の愛の力を信じて生きる人に訪れます。人の罪よりも深い神の愛に信頼し、罪深い自分自身のすべてをありのまま、神の愛の力に委ねる人に訪れます。そしてその瞬間、死に勝利している復活の主と共に生きる新しい世界が開かれます。「はっきり言うておろが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われるイエスの言葉が開く世界にイエスと共に生きていく命となります。

メシア出現の瞬間は神の創造の業の勝利に満ちた完成を人に告げ知らせている神の愛の行為です。

2019年度 第72回卒業生

①卒業論文 ②卒業時の所属教会 ③実習教会 ④赴任教会



石田幸子 いしだ さちこ

- ①詩編 130 篇から始まるルターの会衆賛美
- ②田園江田教会
- ③田園江田教会
- ④田園都筑教会 担任



井田一郎 いだ いちろう

- ①アブラハムの「神への従順と限界」－アブラハム伝承におけるイサク奉獻(創 22:6-12)の考察
- ②大宮教会
- ③大宮教会
- ④本宮教会 主任



大島庄吾 おおしま しょうご

- ①宣教の愚かさ
- ②新潟愛泉伝道所
- ③蒔田教会
- ④新潟愛泉伝道所 主任



桑原道子 くわはら みちこ

- ①日本のキリスト教会の潜在力への期待～解放の神学からの学びより～
- ②江古田教会
- ③江古田教会・目白町教会
- ④調布教会 担任



坂谷内健一郎 さかやうち けんいちろう

- ①マルコによる「イエスの安息日」理解について
- ②大泉教会
- ③大泉教会
- ④伝道準備中



佐藤彰子 さとう あきこ

- ①主の晩餐－啓示を伝承する－コリントの信徒への第一の手紙 11章 23-26 節－
- ②武蔵野教会
- ③武蔵野教会
- ④越生教会 主任



中村 献 なかむら けん

- ①礼拝における説教の意義
- ②久美愛教会
- ③久美愛教会
- ④久美愛教会 担任



野澤幸宏 のざわ ゆきひろ

- ①日本国憲法9条とキリスト教の共鳴
- ②坂戸いずみ教会
- ③坂戸いずみ教会
- ④栃尾教会・巻祝福教会 主任



眞柄光久 まから てるひさ

- ①"Jesus People Movement (イエス・ピープル運動)"－1960-70年代のアメリカのヒッピーとキリスト教
- ②日本バプテスト連盟大井バプテスト教会
- ③日本バプテスト連盟大井バプテスト教会
- ④東京バプテスト神学校へ進学

2020年度 新入生一覧

【正科生】

1. 北田翔太郎 春日井教会
2. 佐藤智子 安積教会
3. 西川穂 千代田教会
4. 松井直樹 三鷹教会

【聴講生】

1. 海野博 東戸塚教会
2. 大森意索 千代田教会
3. 齋藤健一郎 愛泉教会
4. 陳堯 単立 神の家族主イエス・キリスト教会
5. 花島泉 東京シオン教会
6. 堀尾隆 小金井教会
7. 松脇達朗 日本キリスト教会蒲田御園教会

教職員の異動

就任

《教員》

上村敏文(講師)	2020年4月1日
大久保正禎(講師)	2020年4月1日
ゾンターク・ミラ(講師)	2020年4月1日
土肥研一(講師)	2020年4月1日
朴憲郁(講師)	2020年4月1日
細井茂徳(講師)	2020年4月1日

《職員》

西川穂(嘱託職員)	2020年4月1日
-----------	-----------

退任

《教員》

飯島信(講師)	2020年3月31日
郷かしこ(講師)	2020年3月31日
長谷川(間瀬)恵美(講師)	2020年3月31日
山本隆久(講師)	2020年3月31日

《職員》

野澤幸宏(嘱託職員)	2020年3月31日
------------	------------

リユニオン（再会の集い）を終えて

校長 神保 望

シリマン大学神学部との相互交流プログラム

フィリピンのシリマン大学は、1901年創立のプロテスタント系総合大学である。創立当初から神学部が開設されているが、1946年のフィリピン独立後プロテスタント諸教派が合同しフィリピン合同教会(UCCP)が誕生すると、米国長老教会の教派的背景を持ちながらもフィリピン合同教会認可神学校となり、多くの伝道者を養成し国内外に輩出している。

シリマン大学神学部には、世の現実を神学的に検証しキリスト教信仰をもって解決を図るための宣教理論と実践的教育の機会が多数用意されている。日本聖書神学校では、社会的諸問題を神学的に検証し、その解決のために諸教会と連帯して働く現場を訪ねる体験学習は重要であるとし、交流プログラムを約30年に亘り実施して来た。16回目となる2017年開催までの日本側参加総数は約60名、来日された

フィリピン側参加総数は約20名である。このプログラムを通じて得られた交流は、現在も続く個人的交流によって更に豊かなものとされている。

リユニオン（再会の集い）での話し合い

神学生当時に参加された方々から「交流プログラムの今後の在り方」についてご意見を伺うべく、リユニオン（再会の集い）を2月17日（月）に開催した。19名が参加され、交流プログラムのご経験に基づく「今後の在り方」について忌憚なく意見交換をして頂いた。そこでの共通したご意見は、交流プログラムによる学びが卒業後伝道者となり遣わされた教会の諸課題に直面した際に、宣教の具体的方策を考える上で大変参考になったということ。苦闘するフィリピン人キリスト者の生き様に触れたことによって、伝道者としての自分自身を改めて見つめ直す機会を得たと言うものだ。皆一様に、交流プログラムの継続と発展を期待し

ておられた。

交流プログラムのこれから

日本聖書神学校の財政危機は依然として続いている。その余波は交流プログラムにも及んでおり、前回の参加者は参加費用の一部を負担した。またフィリピンから神学生を招く場合、日本側が全額負担して来たが、現在では予算を編成するのも一苦勞である。そこで訪問客を迎える際には、教会施設や牧師館に宿泊し交流することで費用の軽減が可能となる。また日本側参加者による積み立てや諸集会時に募金を募るとのご意見が寄せられた。シリマン大学神学部との交流は日本聖書神学校の特色あるプログラムであると再確認されたリユニオン（再会の集い）は、参加者からの前向きなご意見によって大きな励ましをいただく結果となった。参加された方々に心から感謝の意を表しつつ、次回交流時にはご意見を十分に活かしたいと思う。

春期伝道実習報告 — 会津地区 —

3年 佐藤 貴仁

2020年2月8日～18日の日程で、福島県の会津地方において伝道実習を行いました。一口に会津地方と言っても、私の故郷である神奈川県の2倍強ほどの広さを持つ広大な土地ですが、その中の「あいづだいら」と呼ばれる会津盆地を中心に、日本基督教団立の9教会と1伝道所が点在しており、今回はそのすべてを訪れる機会に恵まれました。

まずは猪苗代教会を会場に行われていた「東北地区中高生・青年ワークキャンプ」の参加を皮切りに、1週目は猪苗代教会、会津高田教会において、2週目は会津若松教会、喜多方教会でメッセージの奉仕をしたり、会津坂下教会で開催された「会津農民福音学校」に出席したりと、様々な背景を持つ人との交わりの機会を得ました。また、その間に無牧である山都教会の祈祷会と礼拝参加ならびに、川桁伝道所、会津本郷教会への訪問や、「あいづだいら」からは離れた場所にある会津田島

教会の委員会と、若松栄町教会において会津地区の牧師会に参加する機会も与えられました。滞在の最後には会津放射能情報センターにて、原発事故後の現地の状況や放射能汚染の現状について代表から話を聞き、その支援活動に対する熱き思いに触れつつ、彼の地を後にしました。

この伝道実習を通して、無牧の教会はもちろん、数人で礼拝を守っている小さな教会が多くあるなど、地方における宣教や教会の現状を目の当たりにしました。しかし、過疎化や高齢化に伴う教会員の減少という喫緊の課題を抱えつつも、教会と共に人々の命脈が保たれている姿に、信仰の本質を見た気がしました。また、農業と福音との関わりや福島における放射能の問題などその土地特有の課題から、日頃は意識しないことに思いを馳せたりもしました。キリスト教には、教会には、ひいては牧者にはそうした現実を目の前にして何が求められるのか、考え続け



会津高田教会

ることが私にとっての今後の課題となりました。

最後に、地方教会の伝道においては、地域の牧者同士の連携が不可欠だと感じましたが、会津においては各教会の牧者が密に協力し合い、地域の信仰を支えている姿が印象的でした。自分が将来同じ立場になった際には、こうした土地に身を置き、僣越ながら同じように仕えたいと思わせられる、そんな素敵な人たちがばかりでした。滞在中は親身に面倒を見てくださった会津高田教会の八木原敬一牧師をはじめ、お世話になった会津の教会関係者各位に、ここに記して御礼申し上げます。

Diary 学事報告
2019年9月～2020年3月

- 9月9日 後期始業礼拝、教授会(第5回)
- 9月10日 夏期伝道実習報告会
- 9月18日 カリキュラム対話集会
- 9月26日 理事会(第252回)
- 9月30日 同窓会役員会
- 10月1日 第1回オープンキャンパス、参加者6名
- 10月7日 教授会(第6回)、後援会役員会
- 10月8～9日 教務部長代行面接
- 10月17日 理事会(第253回)
- 10月25日 教授会(第7回)
- 10月25～26日 全校修養会 テーマ「聖書協会共同訳聖書」(講師:飯島克彦氏(日本聖書協会) 於高尾の森わくわくビレッジ、

- 参加者31名
- 11月1日 学生自治会ゲルンスハイム・デュオコンサート
- 11月8日 教授会(第7回)、秋期入学試験(合格者:正科生1名)
- 11月11日 図書館運用委員会
- 11月11～15日 授業体験週間、参加者4名
- 11月25日 理事会(第254回)・評議員会(第213回)
- 12月5日 ホームルーム
- 12月6日 教授会(第8回)、クリスマス礼拝(説教「シメオンのクリスマス」保科隆牧師(日本基督教団東北教区総会議長、福島教会牧師)、参加者85名
- 1月6日 新年始業礼拝
- 1月13日 第2回オープンキャンパス、参加者8名

- 1月27日 教授会(第9回)、卒業論文講評会
- 1月28日 卒業論文発表会
- 2月3日 後援会役員会
- 2月4日 フィールドスタディ報告会
- 2月7日 理事会(第255回)
- 2月10日 同窓会役員会、同窓会役員と卒業予定者との懇談会、2年生と教授会との面談
- 2月12日 学生自治会総会、4年生を送る会
- 2月13～14日 春期入学試験(合格者:正科生4名、聴講生7名)
- 2月14日 教授会(第10回))
- 2月17日 シリマン大学神学部との交流プログラムリユニオン
- 3月2日 教授会(第11回)、卒業証授与式
- 3月16日 新入生オリエンテーション
- 3月23日 理事会(第256回)・評議員会(第214回)

個人消息

■ 神保望 校長

- 9月1日～11月3日 飯能教会訪問(毎月1回聖餐式司式)
- 9月8日 目白教会訪問(年数回)
- 9月9日 武蔵野教会訪問(年数回)
- 9月22日 代々木教会にて礼拝説教(毎月1回)
- 9月28日 池袋朝禱会にて奨励を担当
- 10月3日 田園調布教会訪問
- 11月4日 寮監としてメーヤー館(東金教会)訪問(寮生12名)引率
- 11月6日 メーヤー宣教師墓前礼拝に参加(清水ヶ丘教会墓地)
- 11月12日 東金教会訪問
- 11月18日 日本基督教団教師委員会との会合に出席
- 11月26日 同窓会千葉支部会に参加(長浦教会)
- 11月30日 関東教区按手礼に参加(大宮教会) / 寮監として学生寮・クリスマス会に参加
- 12月8日 東京教区北支区按手礼に参加(信濃町教会)
- 12月10日 東京教区東支区按手礼に参加(富士見町教会)
- 12月15日 宿河原教会訪問
- 12月18日 宿河原教会被災支援会議に出席(宿河原教会)
- 12月22日 目白教会にてクリスマス礼拝説教・聖餐式を担当
- 12月24日 ベテル教会訪問
- 1月19日 目白町教会訪問
- 1月29日 中外日報取材(仏教系新聞記事インタビュー)
- 1月31日 日本のひろば(4月号)書評を執筆
- 2月2日 目白教会にて説教を担当
- 2月17日 シリマン大学神学部との交流プログラム会議(リユニオン)を主催(19名)
- 2月23日 飯能教会牧師就任式に出席(祝辞)
- 3月21日 甲府中央教会訪問
- 寮監としての業務を行い、また校長として理事会、評議員会、人事委員会、図書館運用委員会、後援会役員会に出席
- その他、適宜人事相談・学生面接を担当して教務執行

■ 荒瀬 牧彦 教授

- 9月16日 日本賛美歌学会大会で礼拝司式 於仙台教会
- 9月22日 番町教会礼拝で説教・修養会講演
- 10月6日 カンバーランド長老会教会で説教・聖餐司式
- 10月20日 カンバーランド長老会老名シオンの丘教会で説教
- 10月26日 関東教区埼玉地区音楽講習会で講演 於大宮教会
- 10月28日 神学校同窓会関西支部で講演 於箕面教会
- 10月30日 桜美林中学礼拝で説教
- 11月3日 宮城野愛泉教会で説教・研修会講師
- 11月4日 東海教区北信分区教会音楽の集いで講演 於上田新参町教会
- 11月17日 カンバーランド長老会小金井教会伝道礼拝説教
- 11月24日 埼玉新生教会で説教
- 11月30日 池袋朝禱会で説教
- 12月7日 青山学院女子短大シオン寮クリスマス礼拝で説教
- 1月19日 東中野教会で説教
- 2月3日 礼拝研究会 於JBTS
- 2月16日 カンバーランド長老会教会で説教
- 2月17・18日 関西学院大学神学部神学セミナーで講演
- 3月8日 カンバーランド長老会教会で説教
- 3月15日 川崎境町教会で説教
- カンバーランド長老あさひ教会で説教(第2・5主日)
- 執筆 共著:『礼拝改革試論』(キリスト新聞社)、雑誌:『説教黙想アレテイア』特別増刊号(伝道説教)、同108号(使徒信条)、『礼拝と音楽』183号(礼拝における包容言語)、184号(災害時の式文・折々の礼拝)
- 神学校において評議員、理事、同窓会役員の働きを担う

■ 稲垣 千世 教授

- 11月7日 山梨英和高校礼拝説教
- 12月7日 青山学院校友会山梨支部クリスマス礼拝説教
- 12月15日 特別養護老人ホーム昭寿荘クリスマス訪問説教
- 神学校において図書館長の働きを担う

- その他甲府中央教会牧師としての執務執行。山梨ダルクを支援する会副代表としての活動

■ 菅原 裕治 教授

- 11月30日 東京教区多摩教会グループ降臨節前「光の礼拝」司式
- 12月7日 立教大学キリスト教学研究科創立10周年記念行事パネルディスカッションパネリスト
- 2月20日「礼拝と音楽」掲載用「聖書協会共同訳についての座談会」出席
- 神学校において評議員の働きを担う
- 日本聖公会管区共通聖職試験委員会委員長を継続(2020年度春期秋期試験を監修)
- 聖パトリック教会牧師としての執務執行

■ 古谷 正仁 教授

- 10月12日 本宮教会(福島県)問安
- 10月13日 田尻教会(宮城県)、登米教会(宮城県)説教
- 11月12日 東金教会(千葉県)問安
- 11月25～26日 JBTS 同窓会東海支部研修会(嶽南教会)
- 2月17～18日 JBTS 同窓会関東支部研修会(牛久教会)
- 2月20日 JBTS 同窓会神奈川支部研修会(時田教会)
- 2月22日 神奈川教区総会
- 2月24～25日 日本基督教団宣教方策会議(富士見町教会)
- 日本基督教団時田教会牧師として教務遂行
- 日本基督教団神奈川教区総会副議長としての教務遂行
- 日本聖書神学校人事委員、社会福祉法人日本水上学園理事、学校法人横浜英和学院評議員、学校法人元住吉こぼと幼稚園理事、日本キリスト教教育学会文書委員としての業務遂行。
- 日本キリスト教団出版局『季刊教師の友』に「実践的子ども礼拝入門」を連載(2020年3月まで)

■ 柳下 明子 教授/教務部長代行

- 10月20日 水元教会礼拝奉仕、午後講演会
- 2月20日 同窓会神奈川支部会講演
- 神学校において評議員、理事、図書館運用委員の働きを担う
- その他武蔵野緑教会牧師としての執務執行

図書館だより

次の方々と諸団体より寄贈を受けました。感謝をもって報告致します。(敬称略)
小友睦(4)、高橋千寿子(3)、星野憲二(2)、三橋豊子ロムラー、大柴譲治、Janusz Kucicki、小林誠治、日本聖書学研究所(3)、澤崎弘美(9)、亀井周二、大島純男、上原芳子、日本賛美歌学会、宮澤豊、富坂キリスト教センター、長谷川(間瀬) 恵美、河本純、的場恵美子(2)、佐藤健(2)、日本旧約学会、日本バプテスト神学校、河野通長、島田敬子、白砂誠一、加藤正勝、日本キリスト教会大森教会(2)、三本木健治(7)、荒瀬牧彦(2)、プロテスタント文学集団たねの会、鶴田岬、堀成美、西川良三・優子、匿名、日本基督教団ホーリネスの群、横田幸子、武蔵豊岡教会、中野ジョイフル教会、日本フェミニスト神学・宣教センター、松本敏之、基督教共助会、全国教会婦人会連合、東京神学大学、東京都民教会、教団出版局、関田寛雄、ベディラヴィウム会 ()内は回数